

行動パターンがあるということです。いずれもその国では是とされているところです。

ブラジルは、日本と反対の反対側に位置しています。夏と冬はまったく逆で太陽は12時に真北に向かいます。団長アドバイザーとして参加した、日本青年会議所がブラジルで会議を開いた時、我々の記者会見の資料に「ブラジルの天然資源」と「日本の人的資源」を書いたために、記者会見は中止となり、それを調整するために、丸1日もかかりました。彼らは人間は資源ではないとあってゆずらなかつたのです。サンパウロ美術館は美しいガラス張りの建物で絵画はそれぞれ独立して建っています。絵画を横から絵の具の盛り上がり眺めることができ、その後ろには、その絵に関する説明書きがあります。美術館は普通は横から眺めることは出来ず、日本の壁掛けのようなものが一般的です。

ブラジリアのコンサートホールは地下にあります。サンフランシスコのホール舞台の上にも、それを取り込んだ形で客席があります。ギリシャの悲劇の劇場は全て屋外です。

南ドイツのオーバーアンマーガウというところで、10年ごとに開かれるキリスト受難劇の劇場は、客席に屋根があり、舞台はまったく屋外です。この劇は一日がかりで行うものですが、背景に山があって、そこが陽に映えたり雪が降ったりですばらしい演出となります。ウィーンのアムステルハウスには座席のうしろに立ち見席が何列も並んでいます。鉄の棒の止まり木のようなものが、出来ていて、オペラを聞くのです。メトロポリタンオペラハウスの中央階段は女性の背中が最も美しく見えるように作られ、私は音楽が好きなので、よく聴きに出かけました。

ある日、ピーター・ゼルギンというピアニストがベートーベンのバイオリン協奏曲をピアノで弾くということがありました。彼は風邪で休みとなり、代役が演奏を始めました。しばらくしてから、一人立ち、また二人立ち、と、お客が帰りはじめました。そして途中からはぞろぞろという感じで客が動き始めたのです。一方、同じピアニストのバン・クラバンがブラームスのピアノ協奏曲を弾いた時のことです。第1章が終わったら、全員が拍手喝采でした。日本では、全部終わった時に拍手して、最後の一曲が最も拍手が多いというのが、一般的のようです。外国の演奏家による音楽会が「べらぼう」に高いのも日本です。現地のアメリカ人は、今から10数年前に(1970年)NHK交響楽団がカーネギーホールで演奏したときは、三流のオーケストラの値段で聴いていました。

「素人でもよいものはよい、悪いものは悪いということが「国籍」や「名前」ではなく感動できるかどうかというのも一つの見方だと思われれます。」

アメリカジョージア州アトランタで見たソーラーコレクターはボール紙のもの、アルミのもの、ステンレスのもの、値段によっていろいろ選択ができるものでした。

市が「レンタルアグリメント」により、太陽熱施設を貸し出ししている。月毎に使用料のような支払いをしている。コレクターや設備は市のものなので、メーカーの性能も事前にテストされていると考えられている。料理の食べ方についてもいろいろあるようです。アメリカの友人は、右手のナイフで切ったあとは、右手のフォークの腹に豆などを乗せてすくう様に食べていますし、ヨーロッパに人は、左右の手の使い方は、アメリカ人とは違